

I 平成23年度「健やか高松21」の推進状況

1 「健やか高松21」計画とは

すべての市民が健やかで、こころ豊かに暮らすことのできる活力ある社会とするため、
「壮年期（働き盛り）の死亡の減少」
「健康寿命の延伸」
「生活の質の向上」を実現することを目指しています。

この計画は、市民の自発的な健康づくりを進めるための運動の指針であり、市民を始め、家庭、地域、学校、企業、行政および関係機関・団体が一体となって取り組む健康づくりの行動計画です。

2 計画期間について

○当初計画 平成14年度から平成23年度

○中間評価、見直し 平成18年度

○計画期間の延長 変更前 平成23年度まで **変更後 平成25年度まで**

<理由>

健康増進法第8条第2項では、「市町村は国の基本方針および都道府県健康増進計画を勘案して計画を定めるよう努める」と定めており、国および県の計画期間が平成22年度から平成24年度にそれぞれ延長されたことにより、本市の計画期間を平成23年度から2年間延長して、平成25年度まで現行計画を推進する。

3 健康づくりの課題

「こころの豊かさと健康」

「ライフスタイルの改善による生活習慣病の予防」

「食育の推進」

「介護予防の推進」

「生涯を通じた歯科保健対策の推進」

「喫煙・飲酒対策への社会的な取り組み」

「子どもを安心して生み育てられる母子保健や女性の健康づくり対策の充実」

⇒高松市こども未来計画で進行管理

「環境問題に配慮した生活行動の実践」

⇒高松市環境基本計画で進行管理

4 健康づくりの目標

○生活習慣別目標

- | | | | |
|-----------|-------|---------|---------|
| ① こころの豊かさ | ② 運動 | ③ 食生活 | ④ 歯の健康 |
| ⑤ 安全 | ⑥ たばこ | ⑦ アルコール | ⑧ 生活習慣病 |

○ライフステージ別目標

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 乳幼児期「育む（0～5歳）」 | ② 少年期「学ぶ（6～14歳）」 |
| ③ 青年期「翔く（15～24歳）」 | ④ 壮年前期「輝く（25～44歳）」 |
| ⑤ 壮年後期「熟す（45～64歳）」 | ⑥ 前期高年期「稔る（65～74歳）」 |
| ⑦ 後期高年期「安らぐ（75歳～）」 | |

5 「健やか高松21」の推進状況について

【保健対策課】

1) 周知啓発

(1) 広報活動

実践目標別健康づくりについての記事を広報たかまつ等に掲載

年度	掲載状況
21	5/15号：たばこ，9/15号：こころの豊かさ，10/15号：運動，生活習慣病，歯の健康，12/15号：アルコール，1/15号：食生活
22	5/15号：たばこ，6/15号：安全，9/15号：こころの豊かさ，10/15号：運動，12/1号：歯の健康，12/15号：アルコール，1/15号：食生活，2/15号：安全
23	4/15号：生活習慣病，5/15号：たばこ，9/1号：がん予防，10/15号：運動，食生活，11/1号：歯の健康，12/15号：介護予防，1/15号：こころの豊かさ，3/1号：生活習慣病

(2) 啓発事業

年度	内 容	参加者数等
21	「トリムの祭典」，「高松大学祭」，「香川大学祭」に参加し，メタボリックシンドロームチェック（体重・腹囲測定，体脂肪測定，血圧測定，うどんの食べ方チェック，総合判定等）を行い，併せて「健やか高松21」の啓発を行った。	延べ参加者数：455人 内訳：トリムの祭典 220人 高松大学祭 85人 香川大学祭 150人
22	「トリムの祭典」，「穴吹学園カレッジ祭」（創立25周年記念9校合同学園祭）に参加し，健康&メタボリックシンドロームチェック（体重・腹囲測定，体脂肪測定，血圧測定，がん啓発，肺年齢測定，歯科健康相談，総合判定等）を行い，併せて「健やか高松21」の啓発を行った。	延べ参加者数：255人 内訳：トリムの祭典 170人 穴吹学園カレッジ祭 85人
23	「トリムの祭典」に参加し，若さを保つ健康チェック（体重・腹囲測定，体脂肪測定，血圧測定，肺年齢測定，握力測定，棒落下テスト，ロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防啓発，歯科健康相談，栄養相談，総合判定等）を行い，併せて「健やか高松21」の啓発を行った。	参加者数：230人

2) 登録団体

「健やか高松21」計画に賛同し，健康づくりの実践目標のうち，1つ以上を選定して目標達成に向けて取り組もうとする団体・事業所等を「一団体一運動サポート団体」として，地区・事業を「モデル地区・モデル事業」としてそれぞれ登録している。

(1) 一団体一運動推進事業

No	登録団体	活動紹介状況
1	香川県看護協会	毎年、活動状況をホームページに掲載するとともに、市政情報番組で活動を紹介している。 平成20年度「ズームアップたかまつ」 * 株式会社タダノ高松事業所 平成21年度「ホットラインたかまつ」 * タダノ産業株式会社 平成22年度「ホットラインたかまつ」 * 高松市保健委員会連絡協議会 * 高松市食生活改善推進協議会
2	日本たばこ株式会社四国支店	
3	日本健康運動指導士会香川県支部	
4	香川県高松地区食品衛生協会	
5	株式会社タダノ高松事業所	
6	高松市保健委員会連絡協議会	
7	高松市食生活改善推進協議会	
8	タダノ産業株式会社	

※各団体の実践内容は、資料2のとおり

(2) モデル地区・モデル事業

No	登録団体	活動紹介状況
1	仏生山コミュニティウオーク	登録団体は、毎年、活動状況をホームページに掲載するとともに、市政情報番組で活動を紹介している。 平成20年度「ホットラインたかまつ」 * 「健康国分寺21計画」いきいき会議 * むれウォーキングクラブ 平成20年度「ズームアップたかまつ」 * 源平おたっしやくらぶ 平成21年度「ホットラインたかまつ」 * 一宮グラウンド・ゴルフクラブ * 一宮ターゲット、バードゴルフクラブ（登録取消） 平成22年度「ホットラインたかまつ」 * 香南町貯筋運動教室 平成23年度「ホットラインたかまつ」 * いきいき健康クラブ
2	むれウォーキングクラブ	
3	前田地区健康ウォーキング	
4	「健康国分寺21計画」いきいき会議	
5	香南町貯筋運動教室（月曜日クラス）	
6	香南町貯筋運動教室（木曜日クラス）	
7	トリプルかがわ健康マラソン大会	
8	高松市医師会野球部	
9	川島校区スポーツフェスティバル	
11	鹿角ゲートボール同好会	
12	一宮グラウンド・ゴルフクラブ	
13	成合東自治会健康教室・健康体操教室	
14	ハッピーコーラス	
15	めぐみの会	
16	源平おたっしやくらぶ	
18	安原地区来栖、高畑げんき会	
19	庵治放課後児童「わくわくクッキング」教室	
20	一宮ペタンククラブ	
21	十河にこにこ体操クラブ	
23	健やかウォーキング（旧やすらぎのウォーキング）	
24	一宮里山ウオーク同好会	
25	いきいき健康クラブ	
26	林地区老人クラブ連合会	
27	林地区「のびのびすこやか教室」	
28	いきいきクラブ	



※各団体の実践内容は、資料2のとおり

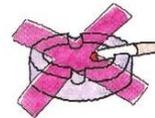
(3) 登録団体の情報交換

年度	内 容	参加者数等
2 1	活動報告および交流会として開催 登録団体の活動状況報告とともにグループワークを実施	一団体一運動：6 団体 8 人 モデル地区・モデル事業：2 1 団体 3 4 人
2 2	保健委員会会長出席の下、交流会として開催 講演（講師 香川大学医学部 平尾智広教授） 「地域で健康づくり活動を盛り上げるために」 講演後、同じテーマでグループワークを実施	一団体一運動：6 団体 6 人 モデル地区・モデル事業：1 4 団体 2 6 人 保健委員会会長：3 3 人
2 3	登録団体の活動報告をまとめ、「健やか高松 2 1」 登録団体活動報告書を発行	一団体一運動：8 団体 モデル地区・モデル事業：2 5 団体

3) 受動喫煙防止対策

健康増進法第 2 5 条で、施設管理者の努力規定が定められており、さらに平成 2 2 年 2 月 2 5 日に厚生労働省健康局長通知「受動喫煙防止対策について」により、公共的な空間については原則全面禁煙であるべきと、特に、官公庁、医療機関に対して、とりわけ徹底した対応が求められた。

受動喫煙防止対策について、広報紙・ホームページ等の各種広報媒体を通じて、各施設管理者に受動喫煙の危険性と防止策を講ずるよう周知啓発に努めた。



(1) 周知啓発の状況

年度	世界禁煙デーパネル展示	その他の事業内容
2 1	保健所・保健センター	厚生労働省通知により、広報、ホームページに受動喫煙防止対策等の記事を掲載するとともに、1, 200 か所の事業所にパンフレットを配布
2 2	保健所・保健センター	5 月 1 5 日号広報たかまつに受動喫煙防止に関する記事を掲載 高松市受動喫煙防止対策庁内連絡会を開催
2 3	保健所・保健センター	5 月 1 5 日号広報たかまつに受動喫煙防止に関する記事を掲載

(2) 市有施設の受動喫煙防止対策状況（平成 2 3 年 5 月 1 日現在調査）対象：4 7 0 施設

部 局	敷地内禁煙	建物内禁煙	完全分煙	分煙	なし	合計
財務部		1	1			2
市民政策部	4	1 3 4		1 7		1 5 5
健康福祉部	1 1 6	1 9	1			1 3 6
環境部		6	1			7
産業経済部	2	2 5	1	5		3 3
都市整備部	8	1 1	1		2	2 2
消防局			1	1 3		1 4
病院局	3					3
上下水道局		6	4			1 0
教育委員会教育部	7 7	1 1				8 8
合 計	2 1 0	2 1 3	1 0	3 5	2	4 7 0
割合 (%)	4 4. 7	4 5. 3	2. 1	7. 4	0. 4	1 0 0. 0

【参考】

- ・完全分煙施設・・・本庁，上下水道局等
- ・分煙施設・・・競輪局，中央卸売市場，消防庁舎等
- ・対策なし・・・地域集会場（2か所）

※ 毎年，市有施設の喫煙状況調査を実施しており，市有施設管理者に対して，庁内ネットワークを通じて調査結果報告を行い，受動喫煙防止対策を講じるよう依頼するとともに，「香川県禁煙・分煙施設認定制度」について周知し，認定を受けるよう啓発を行った。

【保健センター】

■ こころの豊かさ



[こころの健康セミナー]

年度	事業内容等	参加者数	備考
21	統合失調症・うつ病・不安障害について，病気の理解や支援の仕方，社会復帰等の学習会を実施した。	延べ参加者数 189人	3回コース
22		延べ参加者数 186人	3回コース
23		延べ参加者数 152人	3回コース

[心の健康啓発事業]

年度	事業内容等	参加者数	備考
21	心の健康（うつ病や自殺予防）について，地域の保健委員会等で学習を行った。	1,043人	地域等で20回実施
22		2,231人	地域等で52回実施
23		1,761人	地域等で51回実施

- ・若年層のメンタルヘルスの啓発事業として，中学生を対象にピア・サポート講座を実施した。

自殺対策推進事業

近年，自殺による死亡者の増加が大きな社会問題となっている。国は，平成19年に自殺総合対策大綱を掲げ，平成21年度から，地域自殺対策緊急強化基金事業を造成した。それに伴い，本市は，県から基金を受け，平成21年度から自殺対策推進事業を実施している。

自殺対策を総合的に推進していくために，高松市自殺対策庁内連絡会の開催や人材養成事業のほか，自殺予防対策普及啓発事業等を行っている。

※高松市自殺対策庁内連絡会

平成21年度から，本市における自殺対策を総合的に推進していくために，関係課を対象に庁内連絡会を開催している。

■ 運動

[ウォーキング大会実施状況]

年度	健康ウォーキング大会実施状況 (保健師把握分)
21	25地区, 71回, 延べ4, 284人参加
22	16地区, 44回, 延べ2, 788人参加
23	22地区, 106回, 延べ5, 788人参加



[元気を広げる人の養成講座]

年度	事業内容等	実施回数・参加者数等
21	地域で自主的に介護予防活動を実践していく人材を育成するために、講義・実技・グループワーク等を内容とする講座を保健センターで開催した。	5回コース 開催回数 6回 実人員104人 (延べ参加者数: 466人)
22		6回コース 開催回数 7回 実人員69人 (延べ参加者数: 379人)
23		5回コース 開催回数 5回 実人員 57人 (延べ参加者数: 258人)

[元気を広げる人の養成講座フォローアップ事業]

年度	事業内容等	実施回数・参加者数等
21	元気を広げる人の養成講座を受講した人が、主体的な健康づくり活動を実践し、介護予防活動を地域へ広げるために健康運動指導士が講師となり、フォローアップ事業を実施した。 対象者：今までに講座を受講した地区の受講生および地区住民	29地区 開催回数 43回 延べ参加者数: 646人
22		25地区 開催回数 40回 延べ参加者数: 671人
23		23地区 開催回数 35回 延べ参加者数: 540人

[元気を広げる人の養成講座受講者交流会]

年度	事業内容等	実施回数・参加者数等
21	元気を広げる人の養成講座受講者と当該地区の保健委員会会長を対象に、各エリアで活動報告や情報交換、講師の講演、実技などの内容で交流会を開催した。	6回(各エリア1回) 参加者数: 192人
22	介護予防サポーター・認知症サポーターと合同で、「介護予防ボランティアのつどい」を開催し交流した。	—
23	開催なし	

[のびのび元気体操の普及]

年度	事業内容等	実施回数・参加者数等
21	元気なうちから介護予防に取り組むために、生活の中で安全で身近にできるオリジナルの介護予防体操「のびのび元気体操」を、平成19年に考案した。この体操普及啓発のために市民向け講習会を高松市保健センターの他、一般介護予防教室や市政出前ふれあいトーク、老人会、保健委員会、敬老会、また、元気を広げる人の活動の中で、各保健センターや地区コミュニティセンター、集会所、地域包括支援センター、老人福祉施設等で開催した。	198回 参加者数：4,731人
22	市民向けの講習会を開催。また、のびのび元気体操を適切に指導できる指導者を養成するため、指導者認定講習会を開催。認定指導者には、DVD・音楽CD・体操解説書を配布し、地域でより安全で効果的に体操を実施することを目指した。	市民向け：197回 参加者数：6,378人 指導者認定講習会 2回 認定者数：68人
23	市民向けの講習会を開催。その他、一般介護予防教室や市政出前ふれあいトーク、老人会、保健委員会、敬老会、また、元気を広げる人の活動の中で、各保健センターや地区コミュニティセンター、集会所、地域包括支援センター、老人福祉施設等で開催した。	市民向け383回 参加者数：8,484人

■ 食生活

[ヘルシーたかまつ協力店募集]

年度	実施内容	登録件数
21	健康づくり協力店の募集・登録の呼びかけを行った。 *食育に関する市役所ロビー展示や各種研修会等において、リーフレット・パネル等を作成し、健康づくり協力店の意義や重要性について普及啓発を行った。	78店 内訳：メニューの栄養成分表示 52店 健康づくり情報の提供 76店 健康に配慮したメニューの提供 17店 ヘルシーオーダーの実施 51店 三つ星ヘルシーランチ店 9店
22	健康づくり協力店の募集・登録の呼びかけを行った。	85店 内訳：メニューの栄養成分表示 55店 健康づくり情報の提供 83店 健康に配慮したメニューの提供 21店 ヘルシーオーダーの実施 59店 三つ星ヘルシーランチ店 13店

2 3	<p>新名称：ヘルシーたかまつ協力店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称，登録証デザイン，内容を変更（名称や登録証デザインについては，一般募集をした。） ・ヘルシーたかまつ協力店の募集・登録の呼びかけを行った。 ・食育に関する市役所ロビー展示や各種研修会等において，ヘルシーたかまつ協力店の意義や重要性について普及啓発を行った。 	<p>101店</p> <p>内訳：メニューの栄養成分表示 60店</p> <p>ヘルシーメニューの提供 29店</p> <p>利用者の要望に対応した取組 75店</p> <p>健康づくり情報の提供 99店</p> <p>メニューの食事バランスガイド表示 1店</p> <p>主食・主菜・副菜がそろっているメニューの提供 18店</p> <p>バランスのよい選び方の展示 0店</p> <p>野菜の使用量の展示 5店</p> <p>野菜を摂取しやすい環境づくり 3店</p> <p>三つ星ヘルシーランチ店 17店</p>
-----	--	--



[食生活指針の普及啓発]

年度	実施内容
2 1	高松市民健康まつり（平成21年度）や保健センターの事業参加者に，本市独自の食生活指針のパネルや食事バランスガイドのパンフレット等で周知し，市民への普及啓発に努めた。
2 2	
2 3	



[フードスタート運動]

年度	実施内容	参加者等
2 1	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で，「食」についての講話および資料を配布することにより，子ども一人ひとりが，体だけでなく，心も健やかに育つための支援や，保護者となる大人自身が「食」を見直すきっかけづくりを行った。	357回 3,408人
2 2		314回 3,327人
2 3		302回 3,207人

[「食育」で心と体いきいき事業]

年度	実施内容	事業数
2 1	市民の発想を生かした食育推進に関する事業提案を募集し，採択することで，各種団体と連携・協力して，地域での活動に取り組み，食育に関心を持つ市民の増加に努めた。	13事業
2 2		11事業
2 3		8事業



[食生活改善事業]

年度	実施内容	参加者数等
21	① 市民の立場で栄養改善を普及する食生活改善推進員の研修を実施している。 ② 市民の栄養および食生活改善の普及指導と自主活動を活発にすることにより、疾病を予防するため「ヘルスマイト養成講座」を開催し、ヘルスマイトを養成している。 ③ 健康についての正しい知識を習得して、生活習慣の改善を実践するヘルスサポーターを育成した。	ヘルスマイト養成講座 受講者30人
22		ヘルスマイト養成講座 受講者34人
23		ヘルスマイト養成講座 受講者36人

[健康新聞に「ヘルシーおやつ」レシピの掲載]

年度	実施内容
21	「じゃがもちココアボール・きなこボール」等10のメニューを提供した。
22	「なつかしプリン」等10のメニューを提供した。
23	「ビスケット風スコーン」等11のメニューを提供した。

■ 歯の健康

[歯科健康診査]



8020運動推進の一環として、40・50・60・65・70・75歳の節目の人を対象に成人歯科健康診査を行い、歯周病予防に努めている。

(単位：人)

年度	対象者数	受診者数	受診率	判定区分			要指導・要精検の内容				
				異常なし	要指導	要精検	歯石除去 経観察	歯周 治療	う蝕 治療	補綴 処理	その他
21	33,020	2,993	9.1%	217 (7.3%)	121 (4.0%)	2,655 (88.7%)	1,359	1,485	909	206	112
22	31,697	3,135	9.9%	202 (6.4%)	122 (3.9%)	2,811 (89.7%)	1,395	1,573	951	191	150
23	30,711	4,229	13.8%	274 (6.5%)	137 (3.2%)	3,818 (90.3%)	1,978	2,199	1,295	242	123

■ 安全

[高齢者の筋力低下予防意識の啓発]

介護予防の推進を図るために、高齢者を対象に介護予防教室や、理学療法士による転倒骨折予防教室などで転倒予防や筋力アップの体操、転倒予防の環境整備などについて普及啓発に努めた。

年度	理学療法士による転倒骨折予防の実技・講座	介護予防教室（一次予防）などで実技・講座	合計
21	33回 609人	544回 14,122人	577回 14,731人

22	123回 2,044人	540回 11,342人	663回 13,386人
23	133回 2,359人	555回 14,682人	688回 17,041人

※地域支援事業実施要綱一部改正（平成22年8月6日）により、「一般高齢者」を「一次予防事業対象者」に名称変更。



■ アルコール（飲酒）

[アルコール問題を考えるつどい]

年度	実施内容	参加者数等
21	アルコール問題により、健康を害したり、社会や家族間の人間関係で悩んでいる本人や家族および関心のある人を対象に、専門家の講演や体験発表等を通じてアルコール依存症について学習し、理解を深めた。	実施なし
22		（アルコール問題を考えるセミナー） 89人
23		（アルコール問題を考えるセミナー） 71人

[アルコール問題を考える家族のつどい]

年度	実施内容	参加者数等
21	月1回、アルコール問題を抱えた家族が共に語り合い、アルコール依存症に対する理解を深め、お互いに支え合い、酒害者の回復を支援するために講演や学習会を開催した。	延べ参加者数 120人
22		延べ参加者数 109人
23		延べ参加者数 97人

■ 生活習慣病

[各種健康診査]



循環器疾患やがんなどの生活習慣病予防を図るため、健康診査、肝炎ウイルス検診、胃がん検診のほか5つのがん検診を実施した。また、平成21年度から、特定年齢に達した方を対象に乳がん・子宮がん無料クーポン券検診、平成23年度から大腸がん無料クーポン券検診を実施した。

(人)

検診名		平成21年度	平成22年度	平成23年度
		受診者数	受診者数	受診者数
肝炎ウイルス検査	個別	466	498	614
	節目外	1,360	715	698
胃がん検診	集団	3,461	3,379	3,439
大腸がん検診	個別	33,521	32,434	35,106
	集団	472	42	
肺がん検診	集団	18,558	17,554	16,503
乳がん検診	個別	10,951	9,926	10,450
	集団	400	401	403
子宮頸がん検診	個別	13,665	14,007	13,524
	集団	450	427	488
前立腺がん検診	個別	14,739	14,202	15,027

[生活習慣病予防教室]

年度	実施内容	参加者数等
21	メタボリックシンドロームや生活習慣病に対する正しい知識の普及を図り、参加者が自らの生活習慣を見直し、生活習慣改善の行動変容を促すよう啓発した。	3回コース 延べ参加者数 113人
22	糖尿病予防教室：糖尿病予備軍に属する人を対象に医師・栄養士の講義やグループワークを通じて、参加者が糖尿病について正しく理解し、主体的に糖尿病予防ができるように促した。	4回コース 延べ参加者数 239人
23	糖尿病予防教室：糖尿病予備軍に属する人を対象に医師・栄養士の講義やグループワークを通じて、参加者が糖尿病について正しく理解し、主体的に糖尿病予防ができるように促した。 また、働く男性のための夜間糖尿病予防教室を開催した。	・糖尿病予防教室（4回コース） 延べ参加者数 237人 ・働く男性のための夜間糖尿病予防教室（5回コース） 延べ参加者数 42人

[特定健康診査・健康診査]

74歳までの方は、特定健康診査（メタボリック症候群早期発見のための健診）を、75歳以上の方は後期高齢者医療健康診査（生活習慣病早期発見のための健診）を実施し、健診の結果により、該当する方に特定保健指導を実施した。

国民健康保険加入者の特定健康診査（平成21・22年度特定健診・特定保健指導実施結果報告から）

年度	対象人員（人）	受診者数（人）	受診率（%）
21	65,967	24,702	37.4
22	66,443	23,647	35.6

内臓脂肪型症候群該当者および予備群の割合

（平成21・22年度特定健診・特定保健指導実施結果報告から）

年度	評価対象者数（人）	内臓脂肪型症候群該当者数 （人，%）	内臓脂肪型症候群予備群者 数（人，%）
21	24,875	5,027 (20.2)	2,577 (10.4)
22	23,823	4,900 (20.6)	2,384 (10.0)

服薬をしている者の割合（平成21・22年度特定健診・特定保健指導実施結果報告から）

年度	評価対象者数（人）	高血圧症治療薬 服用者数（人，%）	脂質異常症治療薬 服用者数（人，%）	糖尿病治療薬 服用者数（人，%）
21	24,875	8,562 (34.4)	4,968 (20.0)	1,877 (7.5)
22	23,823	8,344 (35.0)	4,996 (21.0)	1,778 (7.5)

[健康診査(医療保険非加入者)]

年度	区分	対象人員 （人）	受診人員 （人）	受診率 （%）	指導区分（人）					
					異常なし	要指導	要医療	要観察	治療中	不明
21		3,457	個別 576	16.7	50	65	56	56	339	10
22		3,871	個別 578	14.9	44	62	66	78	324	4
23		4,648	個別 632	13.6	61	59	77	81	354	0

[特定保健指導]

区分 年度		対象者数（人）		参加者数（人） （初回面接修了者）		参加率（％）		備 考
		国 保 加入者	医療保険 非加入者	国 保 加入者	医療保険 非加入者	国 保 加入者	医療保険 非加入者	
2 1	積極的 支 援	937	28	130	2	13.9	7.1	積極的支援・動機 付け支援同時実 施, 委託 34 コースと 直営の個別支援 実施
	動機付 け支援	2,900	27	651	3	22.4	11.1	
	計	3,837	55	781	5	20.4	9.1	
		3,892		786		20.2		
2 2	積極的 支 援	951	46	88	1	9.3	2.2	積極的支援・動機 付け支援同時実 施, 委託 33 コースと 直営の個別支援 実施
	動機付 け支援	2,741	20	420	2	15.3	10.0	
	計	3,692	66	508	3	13.8	4.5	
		3,758		511		13.6		
2 3	積極的 支 援	971	34	83	7	8.5	20.6	積極的支援・動機 付け支援同時実 施, 委託 32 コースと 直営の個別支援 実施
	動機付 け支援	2,726	28	421	4	15.4	14.3	
	計	3,697	62	504	11	13.6	17.7	
		3,759		515		13.7		

【地域包括支援センター】

[二次予防事業対象者介護予防事業]

高齢者の心身機能の維持・改善を図り健康寿命を延ばすため、将来介護が必要となるおそれの高い高齢者（二次予防事業対象者）への対応として、長寿はつらつ健診（介護予防のための健診）の結果や健診未受診者を対象に実施する基本チェックリストにおいて、二次予防事業対象者の把握に努めている。その結果、生活機能の向上が必要な人（二次予防事業対象者）に対し、「はつらつ介護予防教室」を実施している。「はつらつ介護予防教室」では、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防、閉じこもり予防、うつ予防等のプログラムを実施し、生活機能の維持・改善に努めた。平成23年度は、対象者のうち、70～79歳で教室不参加者に対し再度案内し、NPOと協働で「歌声喫茶」を取り入れた内容を実施した。このように魅力的なプログラムを加え、参加者の増加を図るために、対象者が効果を実感でき、かつ楽しい内容になり口コミで広がる魅力あるプログラムの開発を進めた。

(ア) 介護予防事業の実施状況

(単位 人・％)

区 分	年 度	2 1	2 2	2 3
人口		425,876	426,718	426,712
65 歳以上人口 (高齢化率)		93,721 (22.0%)	94,281 (22.1%)	97,082 (22.8%)

基本チェックリスト回答者数 (65歳以上人口に占める割合)		30,041 (32.1%)	28,280 (30.0%)	39,941 (41.1%)
再掲	長寿はつらつ健診受診者数	30,041 (32.1%)	28,280 (30.0%)	28,522 (29.4%)
	健診未受診者に対する基本 基本チェックリスト回答者数	—	—	11,419 (11.7%)
二次予防事業対象者決定者数 (65歳以上人口に占める割合)		7,926 (8.5%)	7,541 (8.0%)	10,678 (11.0%)
二次予防事業「はつらつ介護予防教室」 プラン作成者(65歳以上人口に占める割合)		958 (1.0%)	1,348 (1.4%)	1,646 (1.7%)
二次予防事業 「はつらつ介護 予防教室」 終了時の状況 (プラン作成者に占 める割合)	改善	288 (30.2%)	374 (27.8%)	集計中
	維持	536 (55.9%)	781 (57.9%)	集計中
	悪化	9 (0.9%)	15 (1.1%)	集計中
	死亡	0 (0.0%)	1 (0.1%)	集計中
	その他(入院・転居等)	125 (13.0%)	177 (13.1%)	集計中

※・人口は、各年度3月31日現在の住民基本台帳による。

・平成23年度の事業は、23年1月～24年9月実施中

(イ) はつらつ介護予防教室(通所型介護予防事業)

(単位 箇所・回・人)

区 分		2 1		2 2	2 3	
		直営	委託	委託	直営	委託
運動器の機能向上	実施箇所数	11	32	39	—	43
	実施回数	303	418	1,176	—	1,176
	参加実人数	203	291	1,090	—	1,211
	参加延人数	2,148	3,002	11,103	—	12,311
栄養改善	実施箇所数	11	21	24	—	25
	実施回数	168	128	331	—	244
	参加実人数	34	40	121	—	88
	参加延人数	357	212	658	—	472
口腔機能向上	実施箇所数	11	29	34	—	32
	実施回数	299	191	456	—	487
	参加実人数	155	168	337	—	437
	参加延人数	1,695	870	1,784	—	2,327
その他	実施箇所数	11	32	39	1	43
	実施回数	297	424	834	12	1,152
	参加実人数	126	153	460	92	558
	参加延人数	1,405	1,563	4,597	422	5,584

※平成21年度より二次予防事業は、直営以外に民間の介護予防サービス事業者に委託。

なお、22年度は委託のみ実施。23年度の直営教室は、高松市協働企画提案事業としてNPO法人ビットバレー高松と共催実施。

※「はつらつ介護予防教室」は、年3回実施しており、4月～6月、7月～9月、1月～3月の3回コースである。4月～6月、7月～9月のコースは、前年度把握の教室対象者である。

※その他は、「はつらつ介護予防教室」実施時に、閉じこもり予防・支援、認知症予防・支援、うつ予防・支援も複数組み合わせ実施。

(ウ) 訪問型介護予防事業

(単位 回・人)

区 分		2 1	2 2	2 3
運動器の機能向上	訪問回数	39(15)	5(1)	5(1)
栄 養 改 善	訪問回数	8(2)	0(0)	0(0)
口 腔 機 能 向 上	訪問回数	16(5)	0(0)	0(0)
閉じこもり予防・支援	訪問回数	2(1)	5(1)	5(1)
認知症予防・支援	訪問回数	24(8)	5(1)	5(1)
うつ予防・支援	訪問回数	14(4)	5(1)	5(1)

※ () は、訪問実人数

(エ) はつらつ介護予防教室（継続教室）

(単位 箇所・回・人)

内 容		年 度	2 1	2 2	2 3	
					直 営	委 託
はつらつ介護予防教室 (継続教室)	実施箇所数		12	13	14	20
	実施回数		207	287	259	237
	参加実人数		181	287	443	201
	参加延人数		2,002	3,584	4,492	1,709

※平成21年度より、二次予防事業「はつらつ介護予防教室」終了時、判定結果が「維持」の人を対象に実施。委託は、23年8月より実施。

認知症サポーター養成講座

年度	実施箇所数	参加人数 (人)	内 訳 (人)				
			一般住民	企業	学校	行政	介護サービス
2 1	59	1,949	1,476	292	0	181	
2 2	102	3,690	1,500	1,497	605	88	
2 3	151	4,526	2,504	590	625	382	425

※平成23年度より、介護サービスの区分が追加